

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	大正区
学校名	泉尾北小学校
学校長名	奥田 ユキミ

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・泉尾北小学校では、第6学年 42名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は国語科において全国および大阪府平均よりそれぞれ-4.7%、-3%、算数科においては-2.4%、-1%という結果となった。また、平均無回答率においては全国および大阪府平均より国語科+0.3%、+1.2%、算数科+0.1%、+0.3%でありほぼ同値であった。児童質問紙では生活リズム（朝食を摂る、定時の起床、就寝）の値が全国より高く、規則正しい生活を送ることができている。一方、スクリーンタイム（携帯電話やスマートフォン、携帯式ゲーム機などで動画視聴やゲームをする時間）が長く、特に4時間以上使用する割合が全国の約2倍となっている。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### [国語]

「日常生活で生きて働く力の育成」を研究主題として3年目。「知識及び技能」(2)「情報の扱い方に関する事項」における平均正答率の高さ（自校90.6%、全国85.5%）および無回答率0%という結果から、これまでの成果が明らかとなった。また「文中の主語と述語との関係」をとらえる設問では、全国の平均正答率よりも10%上回る結果となり、文の構成を捉える力が身についてきたと考える。しかし、問題番号3四「【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する」のように、全体の文意を読み取り、まとめを述べたり要旨が含まれたりしている文章を選択する設問の正答率が60%を切っていた。段落ごとの要旨を捉え、それらのつながりの考察を積み重ねることにより課題解決を図る。

### [算数]

総合的な平均回答率は全国および大阪府平均と同じであるが、記述式問題における無回答率の割合がやや高い傾向にあった。普段の授業において考えを書く活動を増やすことで課題解決を図る。

質問調査より

「自分には、よいところがありますか」の項目がここ数年で上昇傾向にある（今年度肯定的回答 78.8%）ことから、日々互いの良さを認め合う風潮が学校全体に広がってきていると考えられる。しかし、全国および大阪府平均を下回っているため、たて割り班活動や委員会活動などの施策において自己肯定感や自己有用感が向上するよう、学校全体で検討していく。

## 今後の取組(アクションプラン)

- ・国語科、算数科における基礎・基本の習得を確実なものにするため、家庭学習の見直しを推進する。そのためにブロック推進事業における家庭用ドリルを活用し、家庭学習計画の一助となるようにする。
- ・家庭と連携し早寝早起きやスクリーンタイム（動画などを見る時間）などの生活リズムの見直しを促すようにする。
- ・放課後学習「I z u k i t a キャンパス」の内容精査および改善。
- ・「民間事業者を活用した課外学習支援事業 つつい塾」の勧奨。

## 【 全体の概要 】

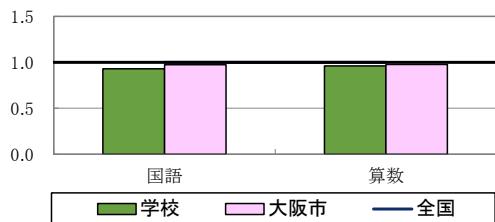
**平均正答率 (%)**

	国語	算数
学校	63	61
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

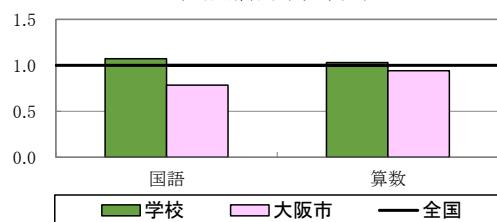
**平均無解答率 (%)**

	国語	算数
学校	4.5	3.5
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



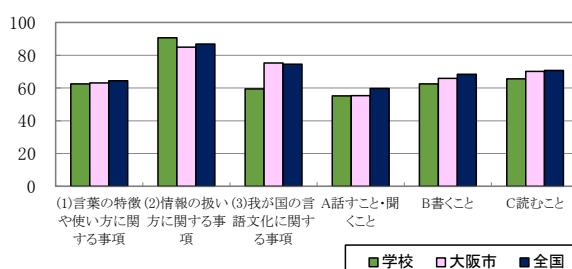
## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	62.5	63.1	64.4
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	90.6	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	59.4	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	55.2	55.3	59.8
B 書くこと	2	62.5	65.9	68.4
C 読むこと	3	65.6	70.1	70.7

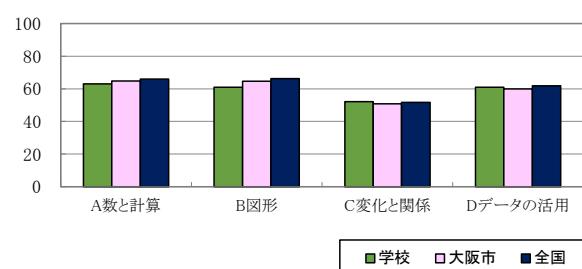
## 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	63.0	64.8	66.0
B 図形	4	60.9	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	52.1	50.8	51.7
D データの活用	4	60.9	60.0	61.8

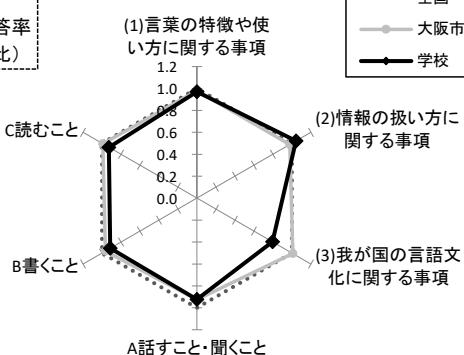
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



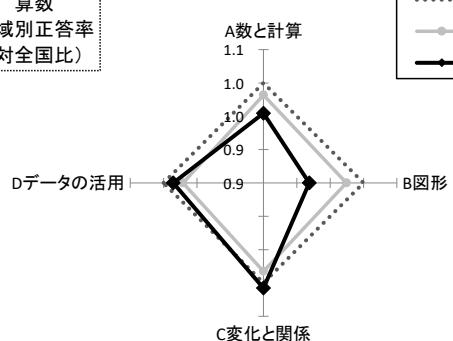
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)



算数  
領域別正答率  
(対全国比)



## 児童質問より

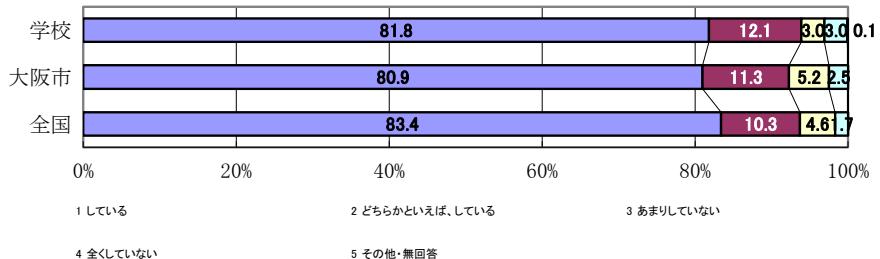
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

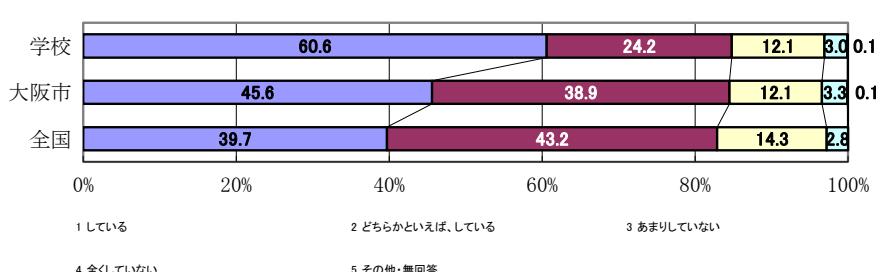
1

朝食を毎日食べていますか



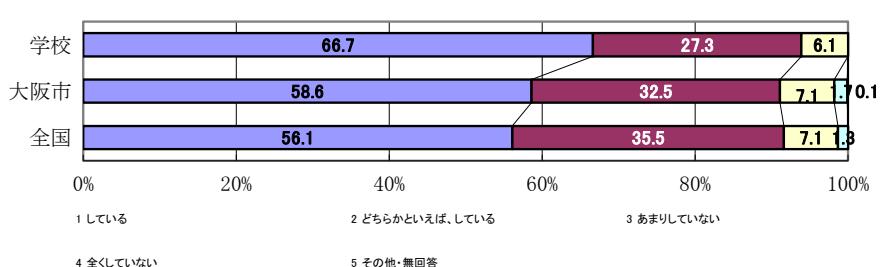
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



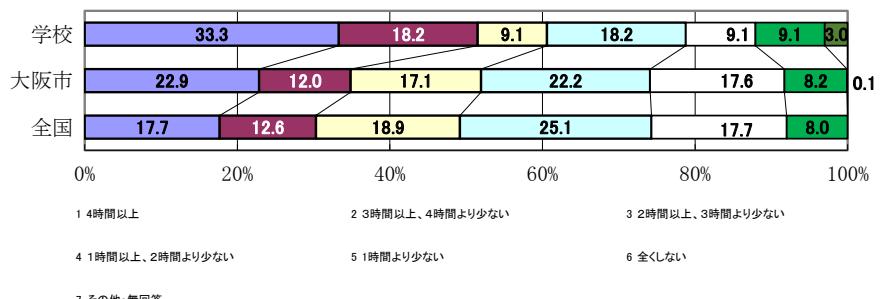
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



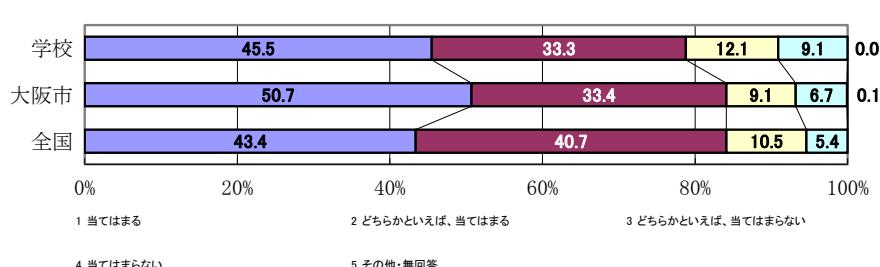
5

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



9

自分には、よいところがあると思いますか



## 学校質問より

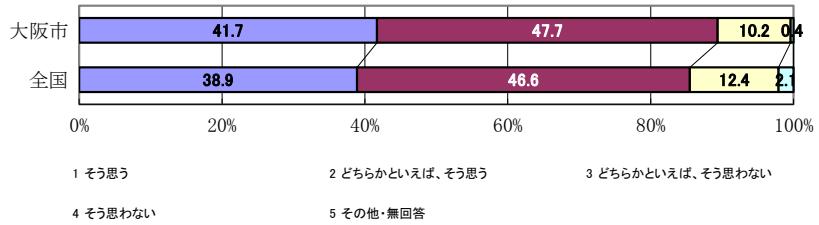
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ちていると思いますか

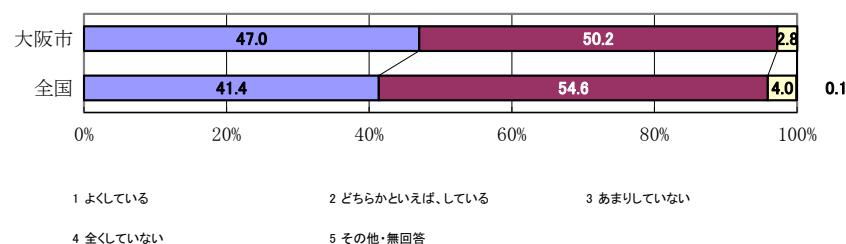
### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



15

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

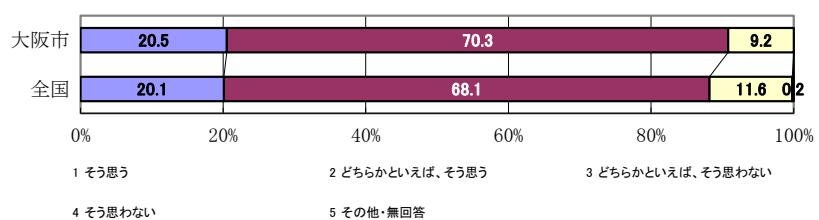
### 学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

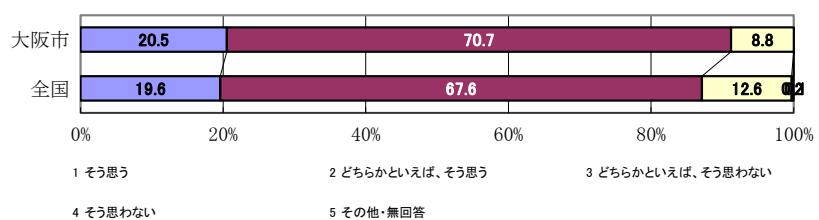
### 学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

### 学校 「そう思う」を選択



29

調査対象学年の児童は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

